



大阪南ブロック かんくう支部  
(有)伊藤齒車製作所 伊藤 雄一郎

大阪の南部、泉州地方にある岸和田市。最近ではすっかり有名になった「岸和田だんじり祭り」を紹介したいと思います。

8月に入りお盆を過ぎると町はいよいよ祭りの準備が始まります。生まれてからずっとこの環境にいたのでなんの違和感もありませんが「今年も言うてる間に祭りやな」って家族や友人や仕事仲間と話になり、なんかわかれへんソワソワ感に包まれてきます。10代、20代のころのような祭りに対するあつ過ぎる思いは30代になって少し薄れてきましたが、少しずつ自分の中でも祭りの形が変わってきたなと思います。

お盆が終わって8月の最後の日曜日から、いよいよ寄せという名の会合が每晚始まります。祭りに参加するみんながこの会合に参加して、祭りの準備を進めていきます。実はこれ、ただの飲み会なのですよ（笑）



でもこの飲み会がかなり重要で、同級生はもちろん年の近い先輩や後輩、年の離れた先輩や後輩と、年に1度再会して「祭りを成功させる」という同じ思いと目標を持って、祭り本番まで一緒に時間を過ごすのです。結果はどうあれ、祭り本番はやってきて終わってしまう。

本番が終わると次の日に後片づけをして「らくさく」と呼ばれる打ち上げやって、今年の祭りの反省をして、また来年の再会を楽しみに別れを惜しむ、ここまでやってやっと今年の祭りが終わります。毎年々同じことの繰り返しやけど、なんかこうやって1年に1度同じ目的で地元の仲間と集まって騒ぐこのだんじり祭りが僕は大好きです。少しずつ祭りとの関わり方が変化していきますが、いつまでも関わってたいと思います。

こうして思うと会社も経営も仕事も祭りも形は違うけれど「みんな一緒のことやってんのかな」って思ったりします。同じ方向を向いて進んでいく中で、考え方が違って衝突したり、その間に入ってお互いの話を聞いて方向修正したり…。まさに経営理念を共有して経営方針を作って経営計画を立てて行動していく…。みたいな感じなんですよ。

現在残念ですが、祭りに参加する若者が減ってきています。いろんな気づきや学びが祭りの中でたくさんあるのに…と思いつながら心配しています。地元で働く場所が少なくなっているから仕事が終わってから寄せに間に合わなくて参加しにくいのかなって考えたりもします。



沼町だんじり



沼町二十五人集

町の誇りのだんじり祭りがいつまでも続いていくためにも地域がどんどん活性化してたくさんの若者が祭りに参加できるように少しでも力になれるよう経営者としての責任を果たしていきたいと感じています。